

(別紙)

令和7年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

7番議員 今西 景子

スマホ時代の新たないじめや子どもの安全に本腰を

2024年に実施された大手通信会社のモバイル社会研究所の調査によると、小学1年～3年生が27.2%、4年～6年生が49.8%、中学生においては90.4%の児童生徒がスマートフォンを所有しているという結果が出ている。学校においてもGIGAスクール構想（一人に一台の端末）が定着している。このように、インターネットやパソコン、スマホのある生活環境の中で育ってきたデジタルネイティブと呼ばれる小中学生の世代にとって、ネット上でのいじめや犯罪に巻き込まれるケースが多発してきている。

開成町でも、青少年問題協議会、いじめ問題対策連絡協議会などで、現在のいじめや犯罪に巻き込まれるケースがインターネットを介したものにシフトしていることを危惧している。特にSNS上でのいじめは、拡散力と持続性が高く、被害者の心を深く傷つける。子どもが被害者になることも、知らずと加害者になることも避けなければならない。

すべての子どもにインターネットリテラシーについて学ぶ機会を十二分に設けるなど様々な対策と、学校現場、家庭への支援について町の考えを問う。